

区議会レポート

126号

葛飾区議会議員

かわごえ誠一

本号の内容

表面：タウンミーティング案内他

裏面：かわごえ誠一活動報告他

発行：かつしか立憲

【区議会控室】東京都葛飾区立石 5-13-1

電話 03-3695-1111 (代)

fax 03-5654-7189

◆かわごえ誠一プロフィール ●1963年3月
川崎市生まれ ●立石在住38年 ●防災士
●子育てネットワーク・学童保育増設・PTA
・図書館友の会などに取組む ●都議秘書
を経て2013年区議選で初当選・2025年4期
目当選 ●議会所属：建設環境委員会・議
会運営委員会理事・危機管理対策特別委員
会副委員長 ●会派：かつしか立憲幹事長

全国みどりと花のフェアかつしか開催



◆5月16日から6月14日にかけて全国みどりと花のフェアかつしかが、にいじゅく未来公園など区内各地で開催されました。◆期間中には環境技術などを展示するショーケースや、環境・緑化フェアなども開催され、緑化のみでなく、温暖化対策や生物多様性、ごみ問題など多様な環境施策に関するブースが設けられました。◆また、5月24日には全国みどりの愛護のつどいが開催され、秋篠宮皇嗣ご夫妻による植樹も行われました。◆このフェアで得られた知見や繋がりを次の世代に伝えていくために、共に考えていきたいと思います。



タウンミーティング

速報 開催決定

2026

葛飾区議会議員 かわごえ誠一 学習会のお知らせ 参加費無料 定員先着 70名

**テーマ：静かに進む孤独・孤立～地域社会でできること
～変わる家族の形・若者から高齢者まで誰にでも起こり得る身寄り無し問題～(仮題)**

と き：8月 28 日 (金) 19:00～21:00 開場 18:45

手話通訳予定

ところ：かつしかシンフォニーヒルズ 別館5階 レインボー

■身寄り無し問題と孤立死のリアル (仮題)

身寄り無し社会の現場から～見えづらい課題を社会で取組むために

講師：瀧野 隆浩氏 毎日新聞客員編集委員

■協働で育む地域のつながり (仮) ワークスコープ・オープンハウス金町 (予定)

■社会福祉協議会の役割 (仮) 葛飾区社会福祉協議会 (予定)

■絡み合う困りごとを受け止めるために (仮) 葛飾区くらしのまるごと相談課 (予定)

■かわごえ誠一連絡先■

〒124-0012 葛飾区立石 8-4 7-1 8 携帯電話 090-2932-7315

e-mail: info@kawagoeseiichi.com



← Instagram かわごえ誠一日々の地域の活動など

Facebook かわごえ誠一サポーターズクラブ →



かわごえ誠一オフィシャルサイト

www.kawagoeseiichi.com →



区議会議員かわごえ誠一活動報告

日々取り組んでいる議会活動・政務調査活動の他、地域活動の一部をご紹介します。

建設環境委員会行政視察報告



札幌市雨水浸透緑化事業の視察

◆5月11日から13日にかけて建設環境委員会の行政視察が行われました。◆札幌市の雨水浸透緑化事業では、道路整備や再開発地域の整備に合わせて雨水浸透と緑化が進められており、部署を跨いだ連携が進められていました。◆本区では雨水対策の現状に課題があり、改めて取

組みの必要性を考えさせられました。◆ウォークアブルシティの取り組みでは行政の企画部門と都市整備が連携し、札幌駅周辺のエリアマネジメントなど民間と協働したまちづくりが進められていました。◆旭川市では、JR旭川駅に隣接した自然と共生した公園「北彩都ガーデン」でガーデンセンターを中心とした市民との協働の取り組みを視察し、本区のみどりや花のフェアのレガシー継承・活用の参考となる事例を拝見できました。



あさひかわ北彩都ガーデンにて

ギャンブル依存症問題啓発週間特別セミナー

◆5月16日にギャンブル依存症問題啓発週間特別セミナーが北区の北とぴあで開かれました。全国ギャンブル依存症家族の会東京とギャンブル依存症問題を考える会が主催し、ギャンブル依存は「誰でも、なる」「誰でも、なおる」をテーマに啓発活動が行われました。ギャンブル依存をはじめ依存症は誰でもかかる可能性のある疾患です。依存症当事者の家族の悩みが家族会で救われるなどピアサポートの重要性も含め、周知を進める必要性を改めて確認しました。



セミナー実行委員の皆さんは家族会など当事者とのこと

柴又川甚まちなみ館 開館

◆7月18日のオープンに向けて、柴又川甚まちなみ館の内覧会が7月8日に開かれました。旧川甚の資料展示や、イベントスペース、カフェなどが設けられており今後の活用が期待されます。



中川かわまちイベント

◆「中川かわまち」イベントが5月24日に高砂地区で、6月7日に亀有地区で開かれました。高砂橋から上流部の河川整備に合わせ、河川周辺の活用を模索するための試行が進められています。



スポーツ大会総合開会式

◆4月12日のスポーツ大会総合開会式にボッチャ協会会長として参列しました。現在区では障害者スポーツ普及検討委員会が開かれており、誰でも参加できるスポーツ環境の整備を進めています。



しろひげ在宅診療所

◆6月2日に江戸川区を中心に児童育成拠点事業やひきこもりの居場所づくりをしている「しろひげ在宅診療所」に伺いました。



にほんごステップアップ教室

◆7月9日に総合教育センターの「にほんごステップアップ教室」の視察をしました。指導の様子とともに、新小岩地域に続き、今年9月に金町地域に開設され

る3カ所目の教室の準備状況なども伺いました。日本語学級との連携などが進められ、これまで日本語初期指導について取り組んできた成果を改めて実感しましたが、多文化共生社会に向け更なる体制整備が必要であることを感じました。



雑感：◆国旗についての処罰を想定した法律が議論されています。◆私自身ボーイスカウトをやっているころ、国旗に限らず、他国の旗や団体の旗など、それぞれ、それを掲げる人たちを代表するものであり、人や顔と等しい存在だから尊重しなければならないと教わってきました。◆これまで自然に、全ての「旗」は等しく扱われるべきだと感じていました。◆そんな中で今回の法律案は何を守りたいのだろうと考えてしまいます。◆この法律を作ろうとする

背景にあるものはなんだろう？◆このところ、虐待や差別などの研修などで、支援者や親、教師、行政など力のある立場の人間の行為、マジョリティの常識、「正論」として発せられる言葉が時に暴力になるとの話を重ねて聞く機会がありました。◆自らの立場・ポジショニングを改めて見つめなおし、異なる立場への思いを巡らせる必要性を痛感しています。◆異論を許さないそんな息苦しい社会に向っていないか、立ち止まって考える必要があるのではないのでしょうか。